

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL
 ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB
 CHARTERED IN 2004



THE Y'S MENS CLUB OF ATSUGI
 4-16-19 NAKACHO ATSUGI
 KANAGAWA JAPAN 〒243-0018
 厚木クラブ会長 日下部 美幸

2020年5月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第185号

主 日下部クラブ会長 楽しく 気長に じっくりと
 湘南・沖縄部部长 ワイズを社会に広める基盤の再構築をする
 東日本区理事 勇気ある変革, 愛ある行動
 題 アジア太平洋地域会長 Action!
 国際会長 より良い明日のために今日を築く

厚木クラブホームページ:
<http://ys-atsugi.jimdo.com/>



厚木クラブ報告



今月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため例会など行事がすべて中止となっておりますので厚木クラブチャーターから15年を過ぎましたがメンバーの皆さんより一言を頂きました。

「神様が引き合わせてくださった」



神奈川県体操リーダー会の1年先輩だった佐藤節子さんに連れてこられて、わけの分からないまま入会し、ただただ居心地の良さに惹かれて三年、会長役まで仰せつかって慌て

ている日下部です。居心地の良さは多分それぞれが一つあるいは二つ宝物をかかえていて、必要に応じて惜しみなく見せてくださるからでしょう。音楽・体操・地理・いろいろなエンターテイメント・薬学・医学等まだまだいっぱい。生き字引のように暗くなりがちな足元を照らして問題点を浮き彫りにしてくださる先輩も頼もしい限り。入会直後に突然主人を亡くし、途方にくれている私に生きる方向をさし示してくださったと思っております。私は信者ではありませんが時々声が聞こえてきているのかもしれないね。

7月に仕事にしている気功を深めるために、6日間中国太原に行ってまいりました。10数年前にいった時には歴史ある素朴な小さな町は様変わり。経済発展はすさまじく、350万人都市となり、車を走らせても30階建のビルは続き、まだまだ建設中。ビルの壁面全部の意匠を凝らしたネオンサインは真夜中まで煌々とし、セキュリティの厳しい半分以上

厚木ワイズメンズクラブの誕生まで

- ☆2002年9月
横浜とつかクラブ 安永和夫さん
厚木クラブ設立を提唱
- ☆2002年11月19日
第1回設立準備の会合開催
- ☆第1回設立準備委員会開催
以後12回の例会を経て
- ☆2004年6月23日
設立総会開催
- ☆2004年9月5日
チャータナイト

例会データ	3月	在籍会員	16人
会 員	0人	メイキャップ済み	0人
ビジター	0人	出席率	0%
ゲ ス ト	0人	ロバ	
合 計	0人		0円

空き室のマンションはホテル経営にきりかえる手際
のよさ。もちろんわが老師の庵？は30だての4階
の3分の1を使い官公庁と博物館が見渡せる素晴ら
しいロケーション。いつも老師から条件が揃うまで
じっと見ていなさい。先走って心配して病気になっ
たりせずにありのままに委ねて全部が整っているこ
とを確認したら、自然治癒力を引き出す為は無為に
徹しなさい、と。もちろん無為にいけるまでには努力
に努力を重ねないといけないんだそうです。生きて
いる内にたどりつけるか、なんとも程遠い夢みた
いな話です。日本の畳をとり入れた茶室でお茶の接
待をうけながら古き昔とイケイケの現代の対比に度
肝を抜かれて帰ってまいりました。

日下部 美幸

厚木YMCAの片隅で

田口堅吉



1963年、茅東
大学長の卒業式での
告示「小さな親切を
勇気を持ってやって
いただきたい。」を新
聞で知って感銘を受

けた人たちの私も一人です。そして茅学長が厚木のご
出身と知り、厚木という街には茅学長のような立
派な人を育てるそんなすばらしい土壌があるのだと
知りました。これが地方出の私が真の厚木市を知る
ようになった始めです。

2004年、厚木にワイズメンズクラブを創ること
になり、神奈川県には沢山の市がある中で厚木市
だけは通勤者のやってくる数が出かける数よりはる
かに多い、唯一のベッドタウンでない、活気のある
街であることを知り、そんな雰囲気の中でのクラ
ブ創設に限りない夢を与えられました。

当時の厚木YMCAは私たちのような新来者の訪
問者にも、職員の方々だけでなく専門学校生の皆
さんまでもから訪れるたびに和やかな挨拶を頂き、
東京クラブの佐藤茂美さんが「厚木Yはとてもア
ットホームで、来るのが楽しい。」と私に漏らされ
たのに同感したのを今も鮮明に覚えております。こ
んなに素晴らしい厚木YMCAを支援するクラブを創設

ことに無上の喜びを感じたものでした。

クラブ創設後会員の出入りが激しく一時はどうな
ることかと思いましたが、EMCの権化のような方
を迎え以後 good standing を割るようなことはなく、
明るく楽しい例会を続けていくことが出来、心から
感謝しております。

創立以来15年間の画期的なことと言えば、なん
といっても2015年6月第18回の東日本区大会
を成功裏にやり遂げたことだと思います。綿密な大
会規則があるわけではなく、ほとんどが前例に倣い
というあいまい至極の縛りのなか、田中理事と前年
のホストクラブ江東クラブとのご指導を唯一の頼りに、
クラブ全員一丸となつての成果と今も涙なくしては
思いません。なかでも実行委員長、情報担当兼
務の激務を担われたクラブ会長、1銭のミスもな
く成し遂げられた会計、入会間もなくで東山荘をヒ
ガシヤマソウと読んだと気をもむ先輩をしり目に立
派に司会役を務められたお二人などなどいつまでも
私どもの記憶に残ることでしょう。

もう一つぜひお伝えしておきたいことに故田中
信忠ワイズのご厚意があります。加齢とともに歩行
がご不自由になられ、例会への出席が難しくな
られた時、ご家族を通じ例会には出席できない
けれども、大事な時には協力するから遠慮なく
言ってくださいとの有難いお話、遠慮のない
私は早速気になっていた日本語学科への春秋
二度の支援をお願いし、その後長く匿名で
ご支援いただきました。故人になられて
からも、ご家族からまだしばらくは出来
るからとご支援を継続頂いて今日に至
っております。故人になられてからは
厚木クラブ田中信忠賞と明記させて
いただいて感謝の意を表明させていただ
いております。のぶたん(ご家庭内の通
称)の一筋のしっかりしたものを堅持
されながら、やさしく接せられるお人
柄に魅せられて、見習おうと心掛けて
いますが、とても一朝一夕に体得でき
るものでないことをしみじみ感じて
います。

区大会が昔の元服に当たるのでしょうか、皆
さんの尽力で、その後のクラブの躍進は
目をみはるものがあります。高齢者施
設への慰問、厚木在住の外国人との
友好の夕べへの参加協力、厚木市の
福祉団体共催の福祉広場への参加、
厚木市花火大会の翌早朝

の清掃への参加等々、クラブ設立時大変ご指導ご支援を頂いた榎村理事からの「ワイズメンバーの内なる活動だけではだめです、町の中へ出て街の人達と一緒に汗をながして働くことこそがワイズメンズクラブが市民権を得るための最短距離です」との例会卓話でのアドバイスを指針にしつつ進んでいるのが当クラブの現状であります。

クラブの成長に夢中だった15年の間に、挨拶の醸し出すあの和やかな雰囲気可なり消えてしまっていました。英国の産業革命時代劣悪な職場環境のなかで堕落した青少年を心豊かな人生へと導くべく始められたYMCAの矯正活動は和やかな挨拶の交換から始まったのではないかとの思いに駆られ例会日1時間ばかり早目に来て、ホールの片隅で出入りする人と挨拶を交わすようにしています。山根前総主事のご指導ではじまったと伝えられる厚木YMCAの貴重な挨拶の励行を再び盛んにすることが出来たら、なんとという喜び(詩篇133)、微力ながら努めさせて頂いている次第です。

15周年に思う



小林秀
今から15年前厚木ワイズメンズクラブはYMCAの前のビルでチャーターナイトを行い17人のメンバーで発足しました。

私は70歳(専門学校講師)でした。以来横浜戸塚クラブ、小田急沿線の町田及びコスモスなど先進クラブ(通称親クラブ)の絶大な後援によりクラブ活動を模索してきました。

現時点では会員数は発足時のチャーターメンバーの田口兼吉さんと小生とを含む16名となっている。

15年間の厚木クラブの業績と思われるものは東日本区大会の開催を湘南沖縄部長職を引き受け(3回)部会を開催したことなどであろう。

普段のYMCAへの支援活動には全て横浜YMCAの維持会員となり、会としては厚木YMCAへ備品を贈呈(YMCAの事業展開のため)したり、YMCAが行う外人への日本語教育事業に対して役務サービスボランティ

アによる補修授業他をて展開してきた。優秀な卒業生に田中賞を贈呈した。

充実した例会、ブリテン、プログラム配布、ワイズの信条(起立して)、卓話、会員入会動機スピーチ、社会奉仕者等(会員外)の講話、楽しい会食、映像による現世層の鑑賞、情報交換(クラブ側、YMCA側)老化防止体操、唱歌朗唱、誕生祝い(厚木クラブ名入りボールペン贈呈)、自由発言時間、これらの事項を書記(進行役)が進行する。15年かけて楽しい有意義な例会となった。

これからのクラブに望まれるもの

- ・厚木YMCAへの支援では日本語教育に対し田中賞を与えさらに教育ボラを拡充する。
- ・地域福祉では、施設への慰問活動に加え、役務サービスとしてボランティアを派遣する。
- ・厚木YMCAが地域活動と行う子ども食堂、ロコモ運動事業等に役務ボラを派遣する。
- ・災害列島日本では、救済資金が必要であるが、救済金提供のみでなく、災害時のボランティア活動ができるよう検討していく。
- ・YMCAでは国際地域協力募金活動を行い国際平和に役立てている。当クラブではこの活動の多大な推進に向けてYMCAと共働していくことが大切と考える。福祉に対する寄付文化を日本に醸成するための一助となるからである。

15年の節目 ♪ あんなこと こんなこと あったでしょう♪



佐佐藤 節子
厚木クラブは、皆さまに支えられて、今、ここに15年を迎えることができました。

まずもって、みなさま、おめでとうございます。ありがとうございます！

今、振り返ってみれば、先人の方の言葉で「過去から学びなさい。今を一生懸命生きなさい。そして未来を見据えなさい」というワイズにぴったりな言葉を思い出しました。

古くて新しい課題を温故知新ととらえ、伝統を受

け継ぎながら、未来を見据え、今を一生懸命に生きる。永く続く秘訣でしょうか。

わたくしの入会の動機を紐解けば、もともと YMCA が好きでしたので、厚木 YMCA での非常勤講師時に田口堅吉さんからワイズメンズクラブを誘われました。ちょうど沖縄に行きたいと思っていた矢先、沖縄にも行くとのことのお話しに引き寄せられ、ただただ興味本位ながら背中を押していただきながら 2005 年 1 月に入会しました。翌月 2 月に沖縄クラブ訪問です。そこで出会った非凡なる方たちに傾倒しました。当時の方は浅見隆夫理事、久保勝昭部長、歴代理事加藤利榮さんはじめ、樫村好夫さん、藤井寛敏さん 小原武夫さん 故小山正直さん他、30 数名の大ツアーでした。同室の林理子さん。沖縄那覇クラブ呉屋さん、屋良さん、松田さん、大森さん、皆様、優しく楽しく接してくださいました。

私の人生に花が咲きました。ここからワイズにのめりこみました。しかし、花は枯れることもあります。多年草のごとく、この 15 年を節目により一層、人との出会いを大切にしたいと思います。

印象に残っている出来事。

♪ 一つのことだか思い出してごらん、あんなこと、こんなことあったでしょう ♪

- ① 富士山 YMCA ができてすぐ「厚木クラブの登頂記念樹(オリーブの苗木持参)記念バスツアー」立て札持参。バーベキューに舌鼓を打ち、往復のバスの中では歌声が響きルンルン楽しみました。
- ② 懐かしく思い出される岡本尚男さん、樫村好夫さんの卓話。
- ③ 2012～2013 年度湘南・沖縄部長を拝命(千葉裕子書記、森田智重子会計) 余裕なく夢中でした。
- ④ 2015 年田中博之理事年度に東日本区大会ホストクラブを受け石井芳隆さん中心にワイズと行政のコラボを特色に厚木ブロック周辺を満喫していただきました。スポンサークラブに助けられました。
- ⑤ 2018 年バスツアー 2 度目の富士山 YMCA バーベキュー川口さんと小林美知枝さんリードで歌三昧。楽しい時間でした
- ⑥ 2018～2019 年度湘南・沖縄部部長 2 度目の拝命(堀田哲郎書記、伊藤正彦会計) 助けられまし

た。

湘南・沖縄部がスポンサーになり横浜つるみクラブの誕生です。辻剛エクステンション委員長、久保勝昭実行委員長を中心に横浜 YMCA と部あげて一丸になった賜物です、栄えあるエルマー・クロウ賞をいただきました。皆様のおかげです。

- ⑦ 紙の衣装で装うファッションショーも今年で 5 年目。特養ホームの方たちが待っていてくれると思うと、今回はどんな服装にしようかデザインを考えるのが楽しいです。

あとがき

人間 100 歳時代。受容の人生に突入です。お互い体を労りあいながらそこそこ生きています。

神奈川県体育功労賞受賞しました。令和 2 年 1 月 11 日。皆さまのおかげでございます。この賞に恥じないよう精一杯頑張らせていただきます。節子



最大のハプニング・創立15周年記念を迎えて思うこと



川口知幸

私のYMCAとのかかわりは、2004年の定年退職とともに、所属教会の牧師先生の紹介で厚木YMCAの

厚木キリスト教会協議会に加わったことにある。その後YMCAの運営委員となり、委員会に出席をしているときに佐藤節子氏との運命的な出会いがあった。私の日記の中に「ワイズ」の言葉が最初に出てくるのは2009年10月28日である。「ワイズの集會に出席」とある。この前月の9月の委員会で佐藤節子氏より「ワイズメンズクラブというのがあるので出てみませんか」と誘われていた。興味本位で、最初に出席したのがこの10月の例会であった。次にワイズに出たと記録があるのが2010年1月27日の例会である。節子さんの「今度は入会式ね」という言葉に、気持ちも定まらないうちに、「あれよあれよ」という間に、私の3回目の例会の2010年2月24日に入会式が行われた。この日はたまたまTOF（断食時）の日であり、日記に「酔笑園にてシロコロとラーメンを食べる。2300円。」と記されている。戸塚クラブの加藤利榮さんと多摩みなみクラブ（現）の伊藤幾夫さん、他、幾人かの方が立会人として参加して下さったことを覚えております。これが私のYMCAとの15年間、ワイズとの10年間の最大のハプニングでした。厚木ワイズメンズクラブの15年を振り返るときに、各メンバーの方々にもいくつかのハプニングがあったと思います。でも、言えることは、「考えて待つ」こともありですが、「思い切って実行してみる」こともありであるということを教えられたハプニングでした。

思い出と希望

森田 智恵子

厚木ワイズメンズクラブのメンバーになって、いつの間にか11年が経ちました。

佐藤節子さんのご紹介で入会しましたが、その前

はガールスカウトに15年間携わっていました。



ちょうどガールスカウトのリーダーを辞めた頃に、佐藤さんから「ボランティアは生涯やらなきゃ」という言葉に、確かにそう

だなあとまんまと乗せられて、あれよあれよと言う間に入会式になりました。

今から思い起こせば、「何がなんだか」でしたが、皆さんの暖かさと居心地の良さでしょうか、今に至ります。

2013年に厚木クラブが湘南沖縄部の部長クラブになった時に、部長になる佐藤さんから会計を是非お願いしたいと、家の家計簿も長続きしない私が会計を任されました。そして、書紀に千葉さん（今は鎌倉クラブの会長さんですが）が決まり、女性3人で部長クラブのお仕事がスタートしました。

佐藤さんは湘南沖縄部の部長訪問の時に、書紀と会計も一緒にということで、3人で各クラブを回らせていただきました。

それぞれのクラブの特徴が感じられ、また他クラブの方々ともお知り合いになれて、とても良かったと思います。

また、それまでワイズメンズクラブの組織についても、よく分かっていなかったのも、これもとても勉強になりました。

そして2015年には東日本区大会を厚木市で開催することになりました。

決して多くないクラブのメンバーで本当に区大会が出来るものかと、不安でいっぱいでした。

とても厚木クラブだけで開催出来るものではありませんでしたが、横浜クラブ、横浜とつかクラブ、東京ワイズメンズクラブ、東京まちだワイズメンズクラブ、東京コスモスワイズメンズクラブのご支援があつてこそ大会が成功したと思います。

また、会計の私にエクセルの使い方をご指導頂いた方々のお陰で、どうにか無事に会計をまとめる事も出来ました。エクセルは今でもクラブ会計に大変

役立っています。本当に感謝申し上げます。

これから歳を重ねても、健康で社会と関わってきたいと思います。

今後とも皆さん宜しくお願い致します。

厚木ワイズメンズクラブ誕生前夜（厚木クラブ 15 周年に際し）

北村文雄



私も厚木ワイズメンズクラブにお世話になって 6 年目になりました。その間の最大の思い出は厚木東日本区

大会ですね。大変だったけれど楽しかった。15 周年に際し厚木クラブ誕生当時のことを思い出して書いてみました。

横浜 YMCA の数あるランチにワイズメンズクラブを作りたいと元井逸子部長に相談され、マホロバで開催された部会でのスピーチを頼まれた。2000 年のことである。残念ながらこの年度には実を結ばなかった。元井部長とともに部三役として行動を共にしていた安永和夫さんのほうが、悔しがっておられたのが印象的だった。頑張った元井部長の為にも新クラブを作ってやりたかったと。二年後小山正直理事年度に国内担当事業主任を受け、EMC 委員会を作ったとき、安永さんから連絡があった。どうしても厚木にワイズメンズクラブを作る。どうしたら良いか、相談にのれ。その時の私の回答は、火の無いところに煙は立たず、とにかく意思表示して行動を起こしたらどうかと言う話をしたと思う。安永さんの行動は早かった。例の安永書簡が東日本区の多くの方に突然送られて、良くも悪くも厚木に新クラブをという話題があちこちで聞かれるようになった。2002 年の 9 月だった。なによりも今回は、安永さんに加え加藤利栄さん田口堅吉さんという強力なトリオが推進役になった。オールド三銃士のご活躍努力により翌年 2 月厚木 YMCA では初めての準備会が開催された。厚木 YMCA 会館を使っの初めての準備会ということで、皆さんの晴れがましいお顔が印象的だった。第 1 回仮例会は 5 月に開催され、まだ若

かった奥園さんが厚木 YMCA

についての卓話を行った。第 2

回仮例会は 6 月 25 日「ワイズと

は」という表題での私の卓話で

した。事業主任としての任期最後の仕事でしたので、強く印象に残っています。

その後、田口さんを初め皆さんの地道な努力により、12 回の仮例会、3 回の設立準備委員会、2 回の拡大準備委員会を経て、翌 2004 年 6 月 23 日設立総会を迎えることになりました。

最近、新クラブ設立の動きは半年から一年以内にはチャーターナイトを迎えるようですが、厚木クラブはちょうど 2 年掛かっています。難産でしたね。中心的な役割を担った田口さんに改めて感謝です。主の御名を賛美します。

主の導きのまま



キリスト教会のお友達に誘われて、ワイズメンズクラブに入会して、早、20 年の時が流れている事に、今更ながら驚いています。

最初の頃は YMCA の無い地域でのワイズの活動に驚き、でも、多種多様の方々との交わりにとっても良い人生勉強をさせて頂いてました。ただ、その頃の私は、まだまだ、中高生の多感な娘達 2 人を育てている真っ最中で、月一の例会に出席して、会計の補助をさせて頂いてただけで、会の本質や意向はほとんど理解出来ずに時が過ぎていました。

12 年程前、両親の住む厚木市に移転してからは、恵のうちにクリスチャンである両親もワイズメンズクラブに加わってくれて、とても有意義に過ごす事が出来ました。

神様から頂いた一人一人の良い賜物を皆んながそれぞれ、持ち寄って活動が出来ますように、いつも、祈っています。 徳澤 洋子

厚木ワイズ 15 周年に思う

入会して間もない私を私より少し後に入会された厚木ワイズ前会長小松さんと厚木の担当年の東日本区大会で司会をさせて頂いただけことが本当に YMCA を知る良い経験になりました。



ドキドキしていたあの時のことが今では素晴らしい思い出になりました。感謝しております。

東日本区大会。チャリティーラン、移動例会富士山 YMCA でのバーベキュー、そしてバスの中での皆さんと歌ったこと、野菜販売のお手伝いでは経験できないいろんなことが楽しい思い出がたくさんあります。

ファッションショーも参加しました。第一例会ではシングソングタイムの担当をさせて頂いております。選曲はご希望がございましたら是非教えていただきたいと思っております。

今後も厚木ワイズ行事や YMCA の行事に時間があればでき参加して学んでいきたいと思っております。学ぶことが多い先輩、意欲的な行動力に頭が下がります。今後もできるだけ参加して勉強していきたいと思っております。「15周年本当におめでとうございます」

小林 美智枝

今回コメントはありませんが、その他以下のメンバーが活動しています。

小松 仲史 前会長、音楽家

澤内 隆 大学の地理の先生「バツ地理」講師



鏑木 直子 音楽家



大塚 一義 地域コミュニティ交通会社経営



石井 芳隆 厚木市とのパイプ役、市会議員



奥藪 一紀 担当主事 4月からは阿部 正伴さんに交替



堀田哲郎 書記、ブリテン担当

